

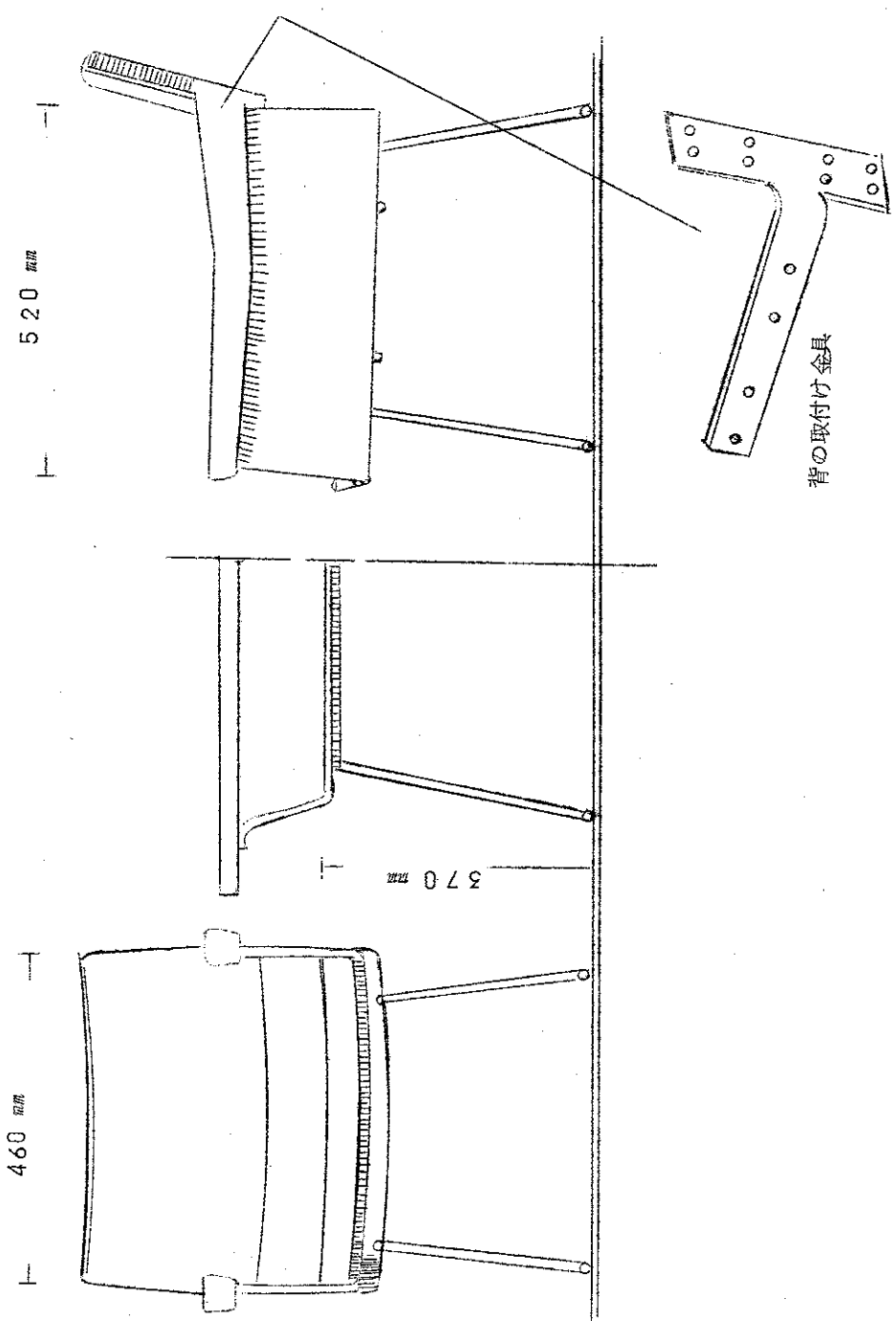
の他に打痕、擦傷等を生ずることがなく、梱包材料費が軽減されるまたねじに依る締付は固定を原則としているために金具の構造取付けが簡単容易で組立後長期の使用で弛みを生ずることが全くない。その他概要で述べられた条件を満たすものであると考えられる。

(7) 成型家具の研究試作

1. 担 当 工業技師 末吉光雄
 " 鮫島正登美
2. 目 的 生活様式の変化に伴つて日常使用される家具も近代的になりつつあり、成型家具の普及も速度が早まっている。一般に使用されている応接用三点セットを成型によりまとめて、次の点に主な目的がある。
 1. 量産によるコストの低下に伴い県外移出を試みる
 2. デザイン上からは軽量のセットとしてまとめる
 3. 脚物家具の既製化の可能性を県下の業界へ発表する。
3. 概 要

試作品の内容

1. 化粧板 シオジ $0.2\frac{m}{m}$
2. 芯材 タブロータリー単板 $1\frac{m}{m}$
3. テーブルトップ ロールコア
4. 接着剤 醋ビ+尿素
5. 脚 $15\frac{m}{m}$ 鉄パイプ
6. 座 ソフトラバー置クッション
7. 裂地 ドレープ



背の取付け金具

4. 成 果 成型では治具の正しい使用法が問題で直線部分と曲線部分の厚さが正確に揃はねばならない此の三点セットはカーブに無理がなく、比較的容易であった。デザインも軽快で好評を博した。今後の問題としては量産の場合のコストで此の種の三点セットとしての最低の生産コストを調査しなければならない。又金具取付けの面の研究も継続して行い必要がある。

(8) 蟻組構造によるパーティクルボードと普通木材との強度比較試験

1. 担 当 工業技師 堀之内 輝 男
 〃 松 田 健 一
2. 目 的 木材の高度利用に伴い家具類に使用する材料も普通木材に対するパーティクルボードなど新材料のしめる役割は近年著しく増大しつつある最近材料不足乾燥の問題及コストダウンの為にパーティクルボードの使用条件を検討した。

3. 概 要 (1) 試験材

		含水率
A	ラワン材	20 $\frac{m}{m}$ 16~17%
B	プリント合板	20 $\frac{m}{m}$ 15~16%
C	ホモゲンホルツ	20 〃 12~13%
D	くす	15 〃 18~19%

(2) 試験片

試験材ABCを抽斗前板として、試験材Dを抽斗側板としダブテールマシソ接加工により下図に示す試験片により実施した。

